

1925~2025

西宮市100年のあゆみ



\\ NISHINOMIYA //

100

100th ANNIVERSARY

2025 西宮市 100周年にむけて

2025(令和7)年4月1日の西宮市市制施行100周年まで、あと約一年となりました!

本市は市制施行から現在に至るまで、上質な文化風土を守り、環境との調和を図ることで魅力あふれる都市として発展してきました。

市では100周年という大きな節目を迎えるにあたり、改めて市の歴史を振り返り、市の発展に尽力された先人たちへの感謝の気持ちを再認識するとともに、ふるさと「西宮」を改めて思い返し、その良さや自慢などをまわりの方と共有していただき、まちへの愛着を再確認する機会になればと考えています。

そこで、まずは皆様のアイデアを募集して完成した100周年記念のロゴマークとキャッチフレーズ、これらは広くご利用いただけるようにしていますので、どんどん使っていただき、まちの至るところで100周年を感じられるようになれば嬉しく思います。

また、すでに市民・事業者・団体の方々からの発意により100周年のロゴをあしらった商品の販売や、「たのしみや、にのしみや」というキャッチフレーズを冠したイベントなども行われています。これらに触れていただくのも良いかと思えます。

この一年間は、100周年を迎える記念すべき日に向けて、市民の皆様と市が心をつなげていく期間にしたいと思っています。

さあ、一緒に「たのしみや、にのしみや!」と盛り上がっていきましょう!

令和6年3月



西宮市長
石井 登志郎

市の概要



西宮市は、兵庫県の南東部、大阪と神戸両市のほぼ中間に位置し、南北に長い市域は北部の山地部と南部の平野部に分かれています。豊かな自然や恵まれた地理的条件、交通の利便性、数多くの教育・文化施設など、文教住宅都市としての優れた特性を有しているほか、甲子園球場のあるまちとしても有名です。

古くから門前町や宿場町として栄え、伝統産業である酒造は江戸時代に「宮水」が発見され、「灘の生一本」として全国に知られるようになりました。平成7年には、阪神・淡路大震災により壊滅的な打撃を受けましたが、その後の懸命な復興により、今では人口が48万人を超えるなど、まちはこれまで以上の賑わいをみせています。

地形

<位置> 北緯 34°44'04" 東経 135°20'40" (市役所)

<面積> 100.18km² 東西 14.3km 南北 19.1km

人口・世帯数 (令和6年3月現在)

<総人口> 483,272人

男性 224,355人 女性 258,917人 世帯数 220,399世帯

市のシンボル



市章

「西」を篆書で真ん中に表示、「宮」をカタカナの「ヤ」3つで組み合わせ「西」を囲んで表しています。
大正15年4月制定



市旗

白地に赤と緑で「15」をデザイン。赤が太陽と幸せ、緑が六甲の自然で「緑と幸せのまち」を象徴しています。
昭和45年11月制定



市花 さくら

市制40周年記念に市民から公募。夙川公園や満池谷など、さくらの名所が市内に多いことから選ばれました。
昭和40年3月制定



市の木 くすのき

市民と市が一体となり緑化を進めていくためのシンボルとして、市民から公募しました。
昭和53年9月制定

1925 西宮市制を敷く

(大正14年)

1934 (昭和9年)

1945 (昭和20年)

西宮市百年の歩み

1924 水道施設完成

日本初の本格的野球場として
阪神甲子園球場誕生

1925 甲子園法に海水浴場開設

1926 市章を制定



1928 市庁舎建設

六波羅寺墓地内に
ダイヤモンドクロスを
国道の島の開通

1928 市庁舎建設



市庁舎や市立図書館も遷居家からの寄付金を財源として建設されました。

町民の要望を受けて

「仍て市制ノ実施ハ由來町民一同望望スル所ニシテ時運ニ適応スルモノト確信ス、茲ニ謹テ意見ヲ上申スル所以ナリ」
旧・西宮市政執行の上申書より

初代市長 紅野 太郎
大正14年8月18日～昭和28年8月12日



最初は
旧町役場で
業務開始



1930 昭和恐慌



1929 甲子園球場開設 甲子園阪神パークの前身



1930 甲子園ホテル開業

関西圏初のリゾートホテルとして
豊能町の武庫川沿いに開業。
設計はフランク・ロイド・ライト
に学んだ建築新法。

1931 満州事変

1932 浜甲子園健康住宅地開設

1932 浜甲子園阪神パーク開業



1934 市制10年記念祝賀会



1933 神戸女学院
岡田山キャンパスに移す

1934 関西学院大学開学

1929 神戸から上ヶ原台地に移転



1933 合併
今津町・芝村・大社村



1934 室戸台風襲来



1937 鳳川公園竣工

1937 阪急西宮球場開場



1937 1938 阪神大水害 84,000戸浸水

1941 太平洋戦争開戦



1942 西宮商工会議所成立

1941 合併
甲東村

1942 合併
瓦木村



1943 鳴尾飛行場開設



1945 原爆投下 広島長崎への原爆投下



1946年
山火事から
約10年後の甲山
(写真は昭和30年代)

1945 市内で死者婦人重傷者60人、鳴尾村も被害。



空襲直後の市街地 西宮市復興
(昭和20年8月6日) (公益財団法人西宮市復興記念館所蔵)

1949 武庫川学院女子大学開学

1946 合併
甲東村

1945 太平洋戦争終戦



1946 復興計画

1950 聖和女子短期大学開学

1949 合併
瓦木村

戦後の復興とまちづくり

1945 日本として初めて

1946 西宮市歌制定

1949 武庫川学院女子大学開学

1950 聖和女子短期大学開学

1951 合併
鳴尾村・山口村・瀬瀬村

1945 原爆投下

1946 西宮市歌制定

1949 武庫川学院女子大学開学

1950 聖和女子短期大学開学

1951 合併
鳴尾村・山口村・瀬瀬村

1946 日本国歌を法公布

1949 武庫川学院女子大学開学

1950 聖和女子短期大学開学

1951 合併
鳴尾村・山口村・瀬瀬村

1949 湯川秀樹氏がノーベル賞受賞

1950 西宮市歌制定

1949 武庫川学院女子大学開学

1950 聖和女子短期大学開学

1951 合併
鳴尾村・山口村・瀬瀬村

1950 サンフランシスコ平和条約発効

1949 湯川秀樹氏がノーベル賞受賞

1950 聖和女子短期大学開学

1951 合併
鳴尾村・山口村・瀬瀬村

1954 第五福竜丸がビキニ環礁へ被曝

1949 湯川秀樹氏がノーベル賞受賞

1950 聖和女子短期大学開学

1951 合併
鳴尾村・山口村・瀬瀬村

1952 朝鮮戦争勃発

1949 湯川秀樹氏がノーベル賞受賞

1950 聖和女子短期大学開学

1951 合併
鳴尾村・山口村・瀬瀬村

1954 第五福竜丸がビキニ環礁へ被曝

1949 湯川秀樹氏がノーベル賞受賞

1950 聖和女子短期大学開学

1951 合併
鳴尾村・山口村・瀬瀬村

1958 原水爆禁止西宮市協議会が発足

1949 湯川秀樹氏がノーベル賞受賞

1950 聖和女子短期大学開学

1951 合併
鳴尾村・山口村・瀬瀬村

<市域の変遷>



1928 市庁舎建設

市庁舎は共同墓地の跡地に建てられ、墓石等は満池谷墓地へ移転しました。庁舎と墓石が併存している写真。



1932 浜甲子園阪神パーク開業

阪神パークは元々、浜甲子園(現在の浜甲子園運動公園のあたり)で開業しました。第二次世界大戦を経て、甲子園八番町・九番町(現在のらぼーと甲子園のあたり)に移転しました。今も、浜甲子園の浜辺には当時の施設のコンクリートの残骸が残っています。



1934 市制10年記念祝賀会

辻々に紅白のまん幕や提灯、桜の造花が華やかに飾られ、役所前には余興場を建てて催し物が行われたり、夜には各地区の屋台が練り歩くなど、大騒ぎでした。

へえー！そうなんや！

知られざる歴史のひとこま

年表に記載されたできごとにまつわる「へえー！そうなんや！」なこぼれ話を紹介するコーナーです。

本年表でも紹介している三つの都市宣言の成り立ちを中心とした、西宮のあゆみ分かる映像も公開中です。是非併せてご覧ください。



1995 阪神・淡路大震災

(平成7年)

2003 環境学習都市宣言

(平成15年)

2025

(令和7年)

1995年1月17日(火曜日)午前6時46分
マグニチュード7.3(震度7)(激震)
日本では初めての近代的な大都市における
都市直下型の大震災。
一瞬にして阪神・淡路地域に大きな被害をもたらし、
西宮市も広い範囲にわたって壊滅的な打撃を受けました。

- 1997 地球温暖化防止京都会議で「京都議定書」採択
- 1998 西宮震災記念碑公園 開園
- 1998 西宮市員類館 開業
- 1999 西宮マリナパークシティ(西宮浜)街びらき
- 2000 フレラにしのみや 開業
- 2001 子育て総合センター 開設
- 2001 アクタ西宮 開業
- 2002 甲子園浜自然環境センター 開設
- 2003 環境学習都市宣言
- 2005 環境学習サポートセンター 開設
- 2006 「循環・共生参加まちづくり表彰」(環境大臣賞)受賞
- 2008 中核市に移行
- 2008 阪急西宮ガーデンズ 開業
- 2011 みやたん誕生
- 2014 アスレチック・リエゾン西宮 発定
- 2015 西宮市立子ども未来センター 開設
- 2017 宮水保全条例 制定
- 2018 東六甲石丁跡が国史跡に指定(徳川大坂城建設のための)
- 2020 「コロナウイルスCOVID-19の感染が拡大」
- 2020 市役所第二庁舎(危機管理センター)開庁
- 2021 市役所第二庁舎(危機管理センター)開庁
- 2023 文教住宅都市宣言60周年
平和非核都市宣言40周年
環境学習都市宣言20周年
- 2025 西宮市制施行100周年

西宮浜マリナパークの経緯

1971-1983 西宮浜マリナパークの前身「西宮浜」の埋立工事着手

1991 「西宮マリナシティ計画」事業計画を承認

1995 西宮浜マリナパークの完成

1998 「西宮マリナシティ」街びらき



復旧・復興に向けて

1995 震災復興土地区画整理事業 森貝

1996 西宮大橋完全復旧

1996 西宮北口駅北東地区 震災復興第二種市街地再開発事業 土地区画整理事業

1996 西宮北口駅北東地区 震災復興第二種市街地再開発事業 土地区画整理事業

1996 西宮北口駅北東地区 震災復興第二種市街地再開発事業 土地区画整理事業

1996 西宮北口駅北東地区 震災復興第二種市街地再開発事業 土地区画整理事業

- 2003 環境学習都市宣言
- 2005 環境学習サポートセンター 開設
- 2006 「循環・共生参加まちづくり表彰」(環境大臣賞)受賞
- 2008 中核市に移行
- 2008 阪急西宮ガーデンズ 開業
- 2011 みやたん誕生
- 2014 アスレチック・リエゾン西宮 発定
- 2015 西宮市立子ども未来センター 開設
- 2017 宮水保全条例 制定
- 2018 東六甲石丁跡が国史跡に指定(徳川大坂城建設のための)
- 2020 「コロナウイルスCOVID-19の感染が拡大」
- 2020 市役所第二庁舎(危機管理センター)開庁
- 2021 市役所第二庁舎(危機管理センター)開庁
- 2023 文教住宅都市宣言60周年
平和非核都市宣言40周年
環境学習都市宣言20周年
- 2025 西宮市制施行100周年

- 2005 兵庫県立芸術文化センター 開設
- 2007 JR 山手幹線が市内全通
- 2008 山手幹線が市内全通
- 2009 甲南大学が西宮キャンパス設置
- 2010 平和市長会議に加盟
- 2011 甲陽園目神山地区が都市景観大賞受賞
- 2012 甲陽園目神山地区が都市景観大賞受賞
- 2013 アイソアリアナ開業
- 2014 アイソアリアナ開業
- 2015 アイソアリアナ開業
- 2016 アイソアリアナ開業
- 2017 アイソアリアナ開業
- 2018 アイソアリアナ開業
- 2019 アイソアリアナ開業
- 2020 アイソアリアナ開業
- 2021 アイソアリアナ開業
- 2022 アイソアリアナ開業
- 2023 アイソアリアナ開業
- 2024 アイソアリアナ開業
- 2025 アイソアリアナ開業

- 2020 アイソアリアナ開業
- 2021 アイソアリアナ開業
- 2022 アイソアリアナ開業
- 2023 アイソアリアナ開業
- 2024 アイソアリアナ開業
- 2025 アイソアリアナ開業

の都市計画決定



1999 西宮市員類館 開業

日本員類学会創設者の黒田徳米博士が集めた「黒田コレクション」などが展示されています。建物の設計は安藤忠雄氏です。



2000 フレラにしのみや 開業

「プレラ」は、楽しみ、喜び、満足などを意味する英語「プレジャー(Pleasure)」と、そこ、あそこを表すフランス語「ラ(la)」を合わせた造語です。



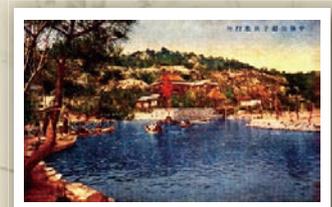
2001 アクタ西宮開業

「アクタ」は「アクティブ・タウン(活気ある街の意味)」の造語です。



2005 兵庫県立芸術文化センター 開業

県立芸術文化センターのあたりには、以前は北口団地が広がっていました。1948(昭和23)年、当時としては高層の4階建て県営住宅が建てられたのがはじまりで、阪神間では初めての団地でした。その後も1961(昭和36)年までに社宅や官舎など51棟の団地が建ちました。



2012 甲陽園目神山地区が都市景観大賞受賞

その昔、甲陽園一帯330ヘクタールの範囲は、クラブ・遊園地・歌舞伎劇場・植物園などを設ける郊外レクリエーション地域「甲陽園」として発展しました。これは当時の甲陽園の様子を描いた絵ハガキです



2021 市役所第二庁舎開庁

第二庁舎が建設される前は、主に教育委員会の部署が入る会館ビルが建っていました。会館ビルには一時、市議会の議事堂も増築されていました。

西宮市100周年記念事業の取り組み

たのしみだ、ししのみだ



たのしみだ、ししのみだ
西宮市 100 周年

100周年ロゴマーク&キャッチフレーズはみなさんもお使いいただけます。

100周年記念のロゴマークとキャッチフレーズは広くご利用いただけるようにしていますので、どんどん使ってください、まちの至るところで100周年を感じられるようにしていきます!

利用方法などの詳しい説明は西宮市100周年のホームページをご覧ください。

使用例



※写真はイメージです。

西宮市公式Instagram始めました。
@nishinomiacity_official



上の二次元コードより、フォローしてください。

西宮市公式Instagramです。西宮市100周年を共に祝いつつ、その魅力を発信していきます。インスタを通じて一緒にまちあるきしましょう!

西宮市100周年ホームページ



西宮市100周年の特設ホームページです。関連するイベント等の記念事業やグッズの紹介をはじめ、西宮市100周年に関する様々な情報を発信していきます。

鋭意 製作中 デジタル連携の
100周年記念冊子発刊予定

100周年の記念冊子は、紙だけにとどまらずWEBサイトや電子コンテンツとしても公開し様々な方が広く楽しめる新しい形で制作します。



待ちきれない方におすすめのサイト

昔の西宮を発見!
にしのみやデジタルアーカイブ



西宮の昔の写真など、膨大な写真や資料をデジタル化して公開しているサイトです。自分の住む地域の昔はどんな様子かを知ることができます。右の二次元コードをスキャンいただくとホームページが開きます。

